





□□ \_\_\_\_\_ □□

1. トピックス …第24回文化賞の応募数812点  
昨年（603点）を大きく超える！

□□ \_\_\_\_\_ □□

第24回日本自費出版文化賞の応募点数が812点、となり、前年を大きく超えました。  
そのうちの約100点は「22世紀アート」という自費出版系の会社からの応募でした。

□□ \_\_\_\_\_ □□

2. お知らせ …新たな自費出版「ライト出版」の状況を伝える  
オンラインセミナー開催します

□□ \_\_\_\_\_ □□

「ライト出版市場の誕生と広がり—縮小する既存出版の外側で膨らむ市場—」

講師：藤井建人氏（公益社団法人日本印刷技術協会 研究調査部長）  
日時：2021年5月14日（金）16：00～17：30  
場所：ジャグラ本部会議室（リアルでの参加もOK）  
会費：JSN会員2,000円、JaGra会員2,500円、その他3,000円  
申込：添付チラシを確認してください。

★新たな出版のうねりを伝える注目のセミナーです。

□□ \_\_\_\_\_ □□

3. お知らせ …理事会開催しました 総会は書面表決  
新年度はWebサイトとセミナーの充実を図る

□□ \_\_\_\_\_ □□

理事役員会が4/21にオンラインで開催されました。  
オンラインの強味で旭川、札幌、金沢、松本、八王子、三鷹（2人）、  
相模原、名古屋、彦根、奈良、神戸、高知まで全国の役員計13人が  
参加してくれました。

以下決定事項です。

- 1) 総会は書面表決。6/26に首都圏役員による集計確認。
- 2) 文化賞2次選考会（7/17）は昨年通り対面にて7/17（土）に開催。
- 3) 最終選考会（9/1）は、コロナの状況を見て開催を判断。
- 4) 来年の「2022岐阜全国大会」は2022年5月13日（金）で決定。
- 5) 2021年度は、日本最大の自費出版オウンドメディア（自費出版情報の集積と発信）を構築するために計画的に進める。
- 6) 会員向けのセミナーを増やす。リアル+オンライン形式にする。

□□ \_\_\_\_\_ □□

#### 4. 自費出版事情 … ～会員便り～ No.41

□□ \_\_\_\_\_ □□

株式会社玉島活版所  
萌友出版

中 藤 収

「何が彼女を駆り立てたのか」

弊社のお客さまに2019年5月から今年4月までの2年足らずの間に、3冊の本を自費出版した若い女性がいます。一冊目こそA5判で200頁そこそこですが、後2冊は各々400頁になろうという大分です。

内容はともに良寛禅師の生涯を辿りながら、師にまつわるエピソードを自分ごととして引き寄せ、心情を思い巡らせたものです。労を惜しまず関係すると思われる現地に取材し、そこから構想も新たにモチーフを広げていきます。結局2冊では納まりきれず、3部作になってしまいました。

彼女はもともと豊富なお茶席体験を持っており、亭主や正客としての嗜みとして茶道具、仏教、源氏物語など幅広い素養がある方なのですが、今まで文章を書いた経験もなく、何が彼女をして3部作千頁（原稿は2千頁を有に超えていたでしょう）もの創作へ駆り立てたのか不思議でなりません。

誰それに背中を押してもらった、と「あとがき」には再三出てきますが、それだけではなかなか。まして多額の身銭を切りながらです。

3冊目の編集作業を終えた今も「なんでそこまで？」の思いは消えません。どうぞ皆さまお買い求めのうえ、私の疑問を解いて頂ければ幸いです。

□□ \_\_\_\_\_ □□

☆ 知つとこ 愛知 ☆ その12

□□ \_\_\_\_\_ □□

知つとこ愛知 最終回

「尾張から美濃へ ★ その時歴史は動いた」

岐阜といえば長良川の鶺鴒い。戦国のロマンを感じさせる金華山と山頂にそびえる岐阜城を背景に、漆黒の闇の中、赤々と燃える篝火を川面に映し、鶺鴒匠と鶺鴒が一体となって繰り広げる古典漁法は、千古の昔にタイムスリップし幽玄の世界へと誘います。

その岐阜城は戦国時代、一介の油売りから身を起こし美濃国の国主になった斎藤道三と、隣国の尾張国に生まれ破天荒な政略・軍略で天下布武(天下統一)を押し進めた織田信長の二人をつないだ居城。「国盗り物語」を扱った司馬遼太郎が書いた歴史小説の舞台にもなり、NHK大河ドラマにもなりました。

元々は稲葉山城といいます。信長が山頂にある城や麓にある町などを「井口」から「岐阜」へと改名したことにより「岐阜城」と呼ばれるように

なりました。  
ここでは楽市楽座を実施することで商人を集め、岐阜の城下町は大いに賑わうようになりました。

その後、信長はここ足掛かりに天下布武の象徴として安土城を築城します。  
尾張の国(愛知県)から京を目指し、天下統一への野望の足掛かりとなった美濃の国岐阜。

明智光秀ゆかりの地でもあり、関が原古戦場もある歴史とロマンに満ちた場所。

感染対策に留意し、戦国時代にタイムスリップした気分であら岐阜を楽しんでみてはいかがでしょうか。

株式会社マルワ 鳥原 久資

\*\*\*\*\*

#### ★あしがき

会員だより中藤さまのお話に出てきた図書は第22回日本自費出版文化賞の特別賞を受賞された

「ゆるり良寛さん 一玉島円通寺のゆかりー」です。

制作の裏話は興味がわきますね。

気になる方はぜひご覧ください。

そして、苦肉の策で講じた「知っとこ愛知」ですが、最終回は弊社の社長に登場していただきました。

愛知から岐阜へ・・・歴史的つながりで締めていただきました。

来月からは一昨年の岐阜文芸社飯尾さまからの

「知っとこ岐阜」をリピートさせていただきます。お楽しみに!

岐阜の記憶をたどりながら、来年こそは皆で岐阜に行きましょう。

最後までお読みくださりありがとうございました。

---

お気づきの点、掲載情報、はたまた私への激励のお言葉がございましたら  
yumi@maruwanet.co.jp まで、お願いいたします。

